



TITLE:

經濟法令

AUTHOR(S):

---

CITATION:

經濟法令. 經濟論叢 1925, 21(2): 292-298

ISSUE DATE:

1925-08-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/128303>

RIGHT:

# 京都市帝國大學經濟學會 經濟論叢

第二號 第十二卷

大正十四年八月一日發行

## 論叢

商書周書

に見はれたる政治經濟思想

法學博士

田島 錦治

公益上の免稅

法學博士

神戸 正雄

運賃論見たるの繋船同盟と海運同盟

法學士

小島 昌太郎

自殺統計論

法學博士

財部 靜治

## 說苑

德川時代岡山江戸間の海運

經濟學士

黒正 巖

リカアドに於ける勞働價值法則の妥當性に就いて

經濟學士

森 耕二郎

## 雜錄

近世農村の性質

經濟學博士

本庄 榮治郎

社會統計てふ名目の意義

法學學士

財部 靜治

手形交換制度の先驅としての里昂のベイーマン

經濟學士

小川 福太郎

物價の變動と從量稅

法學士

沙見 三郎

## 法令

漁業共、施設獎勵規則・漁業財團抵當登記取扱手續・職業紹介法施行令中の改正・關東州の生産に係る物品の輸入稅の免除に關する法律・國有林野火防組合規程・預金部預金を郵便貯金に振替の件

（禁轉載）

# 經濟法令

## 漁業共同施設獎勵規則

農林省令第二十一號 (大正十四年六月二十六日)

第一條 農林大臣ハ漁業ニ關スル共同ノ施設ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ左ニ掲クル設備ニ對シ獎勵金ヲ交付ス

- 一 船塢及船溜設備
- 二 水產物ノ販賣設備
- 三 水產物ノ製造、加工及處理設備
- 四 貯藏設備
- 五 漁船及漁具設備
- 六 水產物ノ運搬設備
- 七 水產物ノ養殖設備
- 八 漁船救難設備

第二條 獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル

- 一 漁業組合又ハ漁業組合聯合會
- 二 水產組合法ニ依リ設立シタル水產會
- 三 水產組合又ハ水產組合聯合會
- 四 産業組合又ハ産業組合聯合會

第二十一卷 (第二號一四四) 二九二

五 市町村又ハ之ニ準スヘキモノ

六 前各號ノ外農林大臣ニ於テ適當ト認ムル法人又ハ組合

第三條 第一條第一號乃至第六號ニ掲クル設備ニ對スル獎勵金ノ額ハ左ノ費用ノ十分ノ四以内トス

- 一 船塢又ハ船溜設備ニ在リテハ漁船ノ船塢場、船溜場又ハ其ノ附屬設備ノ新設、増設又ハ改設ニ要シタル費用
- 二 販賣設備ニ在リテハ水產物ノ共同販賣所又ハ其ノ附屬設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 三 製造、加工又ハ處理設備ニ在リテハ水產物ノ製造場、加工場若ハ處理場又ハ水產物ノ製造、加工若ハ處理ノ爲使用スル機械器具ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 四 貯藏設備ニ在リテハ水產倉庫其ノ他水產物ノ貯藏設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 五 漁船又ハ漁具設備ニ在リテハ漁船、漁具、副漁具、漁船ノ機關若ハ保護設備又ハ染網場、網干場其ノ他漁具ノ保護設備ノ新設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 六 運搬設備ニ在リテハ水產物ノ運搬ノ用ニ供スル船、車又ハ機械器具ノ新設、改設又ハ買入ニ要シタル費用

第一條第七號ニ掲クル設備ニ對スル獎勵金ノ額ハ水產物ノ養殖場、蓄養場、種場、人工孵化場、漁礁其ノ他ノ養殖設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用ノ十分ノ五以内トス

第一條第八號ニ掲クル設備ニ對スル獎勵金ノ額ハ漁船遭難ノ

救護又ハ豫防ノ用ニ供スル救護船、救護船格納庫、標識、信號標、無線電信裝置、無線電話裝置其ノ他ノ設備ノ新造、改造又買入ニ要シタル費用ノ十分ノ六以内トス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ左ノ書類ヲ添

ヘ二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

一 設備ニ關スル事業計畫書

二 設計書

三 設備ニ關スル收支豫算書

獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ市町村又ハ之ニ準スヘキモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ提出スヘシ

一 規約、會則、定款又ハ寄附行爲

二 代表者ノ氏名

前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者第四條第一項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ其ノ設備ヲ譲渡セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第十二條ノ規定ハ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者ニ付之ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依リ譲渡ノ認可ヲ受ケタルトキハ譲受人ヲ以テ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第六條 農林大臣ハ其ノ指定シタル検査員ヲシテ獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ設備ニ付検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セ

## 經濟法令

ムトスルトキハ設備完成又ハ物件買入終了後精算書ヲ添ヘ請求書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第八條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者解散シタルトキハ許可

ハ其ノ效力ヲ失フ但シ合併後存続スル法人若ハ合併又ハ分割ニ因リテ設立シタル法人ニシテ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル設備ニ付引續キ共同ノ施設ヲ行フトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ設備ノ承繼人ハ第四條第一項第一號ノ事業計畫書ニ定ムル目的及用途ニ從ヒ其ノ設備ヲ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ要ス但シ其使用ニ

支障ナキ限り他ノ用途ニ之ヲ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ得

前項ノ目的又ハ用途ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ設備ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ其ノ設備ヲ譲渡セムトスルトキ亦同シ

第十條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ設備ノ承繼人ハ每事業年度終了後二月内ニ其ノ共同施設事業ノ報告書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第十一條 農林大臣及地方長官必要アリト認ムルトキハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ設備ノ承繼人ニ對シ何時ニテモ其ノ共同施設事業ニ關スル報告ヲ命シ書類、帳簿又ハ事務執行ノ狀況ヲ検査シ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ設備ノ承繼人ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨

農林大臣ニ届出ツヘシ

經濟法令

第二十二卷 (第二號 一四六) 二九四

- 一 名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキ
- 二 規約 會則、定款又ハ寄附行為ヲ變更シタルトキ
- 三 組合ニ在リテハ組合員ノ加入又ハ脱退アリタルトキ
- 四 代表者ヲ變更シタルトキ
- 五 設備滅失シ又ハ使用シ能ハサルニ至リタルトキ
- 第十三條 前四條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ獎勵金交付ノ日ヨリ五年ヲ超エサル範圍内ニ於テ農林大臣之ヲ定ム
- 第十四條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ提出者ノ主たる事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經出スヘシ
- 第十五條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者若ハ其ノ設備ノ承繼人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命スルコトヲ得
- 一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ大正十四年度ニ限リ八月三十一日迄トス

漁業財團抵當登記取扱手續

司法省令第十六號 (大正十四年七月二日)

第一條 漁業財團抵當法ニ依ル漁業財團ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外工場抵當登記取扱手續中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第二條 漁業財團所ハ權保存ノ登記ヲ申請スルニハ漁業財團抵當法第六條及工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外漁場ノ圖面及漁場外ニ建設セル工作物アルトキハ其ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出スヘシ但シ漁業權ヲ包含セサル漁業財團ニ付テハ漁場ノ圖面ヲ提出スルコトヲ要セス

第三條 漁業財團目錄ノ記載ハ工場抵當登記取扱手續第七條乃至第十五條ノ規定ニ從フ外後八條ノ規定ニ從フヘシ

第四條 漁業權ニ付テハ其ノ存續期間、漁場ノ位置、漁業ノ種類及名稱、漁獲物ノ種類、漁業ノ時期、免許ニ附シタル條件又ハ制限、免許ノ年月日及免許番號ヲ記載スヘシ

漁業權ノ質借權ニ付テハ其ノ目的タル漁業權ニ付前項ニ掲ケタル事項ヲ記載スル外質借權ノ範圍、存續期間、借貸及其ノ支拂時期、設定ノ年月日並賃貸人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第五條 土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ郡市區町村字、地番、地目、段別又ハ坪數、使用ノ目的、使用ノ範圍、使用ノ時期及期間、許可ノ年月日、使用料又ハ補償金及其ノ支拂時期並土地所有者及關係人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第六條 水面ノ使用權ニ付テハ水面ノ位置及面積、使用ノ目的、使用ノ時期及期間、許可ノ年月日並使用料及其ノ支拂ノ

時期ヲ記載スヘシ

第七條 引水又ハ排水ニ關スル權利ニ付テハ其ノ存續期間、水路ノ位置、水量、許可ノ年月日、使用料及其ノ支拂ノ時期ヲ記載スヘシ但シ水量ヲ記載シ難キモノニ付テハ引水權ニ在リテハ水路ノ取入口、排水權ニ在リテハ其ノ拂出口ニ於ケル水路ノ斷面積及流速ヲ記載スルヲ以テ足ル

第八條 漁網ニ付テハ其ノ大サ及統數ヲ記載スヘシ

第九條 總噸數二十噸未満又ハ積石數二百石未満ノ船舶ニ付テハ其ノ種類、名稱、總噸數及登簿噸數又ハ積石數、進水ノ年月ヲ記載スヘシ但シ端舟其ノ他ノ舟ニシテ以上ノ事項ヲ記載シ難キモノニ付テハ其ノ長、幅及隻數ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十條 筏ニ付テハ其ノ艘數及一艘ノ株數ヲ記載スヘシ

第十一條 數箇ノ漁業權ニ付漁業財團ヲ設クル場合ニ於テ漁業財團目錄ヲ作成スルニハ各漁業權ニ屬セルモノヲ區分シテ記載スヘシ但シ數箇ノ漁業權ニ付合併施業ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 登記官吏カ漁業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ漁業財團ノ表示ヲ爲スニハ左ノ規定ニ從フヘシ

一 漁業權ヲ基本トシテ組成シタル漁業財團ニ付テハ漁業ノ種類、名稱、免許番號、漁場ノ位置及主タル營業所ヲ記載スヘシ

二、漁業權ノ賃借權ヲ基本トシテ組成シタル漁業財團ニ付テハ前號ノ例ニ準シテ賃借權ヲ表示シ且主タル營業所ヲ記

## 經濟法令

載スヘシ

三 登記シタル船舶ヲ基本トシテ組成シタル漁業財團ニ付テハ船舶ノ種類、名稱、船籍港、登記番號、漁業ノ種類及主タル營業所ヲ記載スヘシ

四 水産物ノ養殖場ヲ基本トシテ組成シタル漁業財團ニ付テハ養殖場ノ名稱、位置、漁獲物ノ種類及主タル營業所ヲ記載スヘシ

第十三條 漁業財團目錄及第二條ニ依リ提出シタル圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

附則

本令ハ大正十四年七月六日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

明治三十八年(三月十三日公布)法律第五十四號工場抵當法抄錄

第二十二條 工場財團ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ不動產登記法第三十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外工場財團目錄ヲ提出スヘシ

前項ノ目錄ニハ工場財團ヲ組成スルモノノ表示ヲ掲ケ申請人ノ署名、捺印スヘシ

大正十四年(三月二十八日公布)法律第九號漁業財團抵當法抄錄

第六條 漁業財團ニ付テハ本法ニ規定スルモノ及罰則ヲ除クノ外工場抵當法中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス但シ工場抵當法第十七條及第四十五條ノ規定ノ準用ニ付テハ漁業權

經濟法令

又ハ其ノ登録シタル賃借權ハ其ノ漁場ニ最近キ沿岸ノ屬スル市町村又ハ之ニ相當スル行政區劃、漁業ノ用ニ供スル登記シタル船舶ハ其ノ船籍港ヲ以テ其ノ所在地ト看做ス

職業紹介法施行令中改正

勅令第二百四十號 (大正十四年六月二十四日)

第三條ニ左ノ二項ヲ加フ

市町村ハ其ノ經營ニ係ル職業紹介所ノ紹介ニ依リテ官公署ニ雇傭セラレタル日傭労働者ニ對シ豫メ當該官公署ノ委託ヲ受ケ市町村費ヲ以テ賃銀ノ一時繰替ヲ爲スコトヲ得  
市町村ハ其ノ經營ニ係ル職業紹介所ノ紹介ニ依リテ官公署ニ非サル使用者ニ雇傭セラレタル日傭労働者ニ對シ豫メ地方長官ノ認可ヲ受ケ前項ニ準シ賃銀ノ一時繰替ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入税

免除ニ關スル法律

法律第五十六號 (大正十四年六月十七日)

關稅定率法別表輸入表ニ掲クル物品ニシテ關東州ノ生産ニ係リ本法別表ニ掲クルモノノ輸入税ハ之ヲ免除ス

前項ノ規定ニ依リテ輸入税ノ免除ヲ受クル物品ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ關東州ノ生産ニ係ルモノナルコトヲ證明ス

第二十一卷 (第二號一四八) 二九六  
ルコトヲ要ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

輸入税 表番號	品名
三一ノ内生果	
七二ノ内綿羊革及山羊革(塗リタルモノヲ除ク)	
一四一ノ二 甘草越幾斯	
一四五 阿膠	
一四六 セラチン	
一五一ノ二 ブローム	
一六五ノ内曹達灰	
一六九 硫酸曹達	
二〇四 ナフタリン	
二二九ノ内硫酸マグネシウム及コールタール分留物	
二三〇ノ内コールタールヲ主要原料トシタル消毒劑	
二七八ノ内苧麻絲及苧麻線	
二八一ノ内黃麻絲及黃麻線	
二八三 毛織絲	
二八四 毛絹織絲	
二八六ノ内野蠶單絲	
二八八ノ内野蠶紡績絹織絲	
二八九ノ内野蠶絹絲	

二九六ノ内苧麻繩

二九九ノ内黃麻布(關東州ノ生産ニ係ル黃麻絲ヲ原料トシタルモノ)

三〇一ノ内天竺絨、ブラツシユ其ノ他ノパイル織物以外ノ毛織物及毛絨交織物(關東州ノ生産ニ係ル毛絨絲又ハ毛絨絨絲ヲ原料トシタルモノ)

三〇四ノ内油布(關東州ノ生産ニ係ル布帛及油ヲ原料トシタルモノ)

三二六ノ内毛製又ハ毛綿製ノブランケット(關東州ノ生産ニ係ル毛絨絲又ハ毛綿絨絲ヲ原料トシタルモノ)

四三二ノ内ポートランドセメント

四三六ノ内耐火煉瓦

四三八 耐火性粘土製品(別號ニ掲ケサルモノ)

四四一 硝子塊

四四二 硝子粉

四四四 硝子板

六一七ノ内骨炭(徑一、二五ミリメートルノ圓眼ヲ有スル篩ヲ通過スルモノヲ除ク)

## 國有林野火防組合規程

樺太廳令第十八號(大正十四年五月二十八日)

第一條 林野火防組合ヲ設ケタル者ハ組合規約並左ノ事項ヲ具シ樺太廳支廳長又ハ樺太廳支廳出張所長ニ之ヲ届出ツヘシ其ノ異動アリタルトキ亦同シ

一 防備區域内ノ戸數並組合員數

經濟法令

二 巡視人ノ住所、氏名、年齡

三 防備區域並巡視線路ヲ明示セル圖面

四 防備ニ關スル設備、方法

第二條 林野火防組合ハ組合區域ニ居住スル各戸主ヲ以テ之ヲ組織シ其ノ防備スヘキ區域ハ其ノ所屬全地域トス

第三條 組合ニ左ノ役員ヲ置クヘシ

組合長 一名

副組合長 一名

伍 長 若干名

組合長、副組合長ハ組合員之ヲ互選シ伍長ハ組合員中ヨリ組合長之ヲ指名スルモノトス

第四條 組合ハ左ノ事業ヲ爲スヘシ

一 火入ニ關シ注意警戒ヲ爲スコト

二 林野ニ於ケル焚火ニ關シ注意ヲ爲スコト

三 林野火災ノ消防ヲ爲スコト

四 巡視人ヲ設ケ當時其ノ區域内ヲ巡視セシメ林野火災ノ絶滅ヲ期スルコト

五 其ノ他林野火災ノ豫防、消防上必要ナル措置ヲ爲スコト

第五條 樺太廳長官ハ防備ノ成績特ニ顯著ナリト認ムル組合ニ對シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付スルコトアルヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ之ヲ交付セス

一 組合員、組合員ノ家族又ハ其ノ雇人カ防備區域内ニ於テ一年度内ニ林野ヲ三回以上又ハ立木地、伐採跡地若ハ造林地ヲ三十町歩以上燒失セシメタルトキ

二 防備區域内ニ於テ組合員、組合員ノ家族又ハ雇人以外ノ行為又ハ防備區域外ヨリノ延燒ニ因リ一回ニ三十町歩以



經濟法令

第六條 上ノ立木伐採跡地若ハ森林地ヲ燒失セシメタルトキ樺太廳支廳長又ハ樺太廳支廳出張所長ハ毎年十一月三十日限リ防備成績優良ト認ムル組合ヲ詮衡シ樺太廳長官ニ之ヲ報告スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
國有林野火防組合規程ハ之ヲ廢止ス  
從前ノ規程ニ依リ設置シタル國有林野火防組合ハ本令ニ依リ設置シタルモノト看做ス

預金部預金法附則第四項ニ依リ預金部預金

ヲ郵便貯金ニ振替ノ件

大藏、逓信省令 (大正十四年六月二十四日)

第一條 預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金及明治三十九年勅令第二百十一號ニ依ル預金ニシテ預金部預金法施行後三月内ニ預ケ人之力拂戻ノ請求ヲ爲サハルトキハ大正十四年六月三十日ヲ以テ之ヲ郵便貯金ニ振替ヘ預ケ人ニ對シ郵便貯金通帳ヲ交付ス但預ケ人既ニ他ノ郵便貯金通帳ヲ所持スル場合ニハ貯金轉記ノ請求ヲ爲スコトヲ得  
第二條 前條ノ規定ニ依リ郵便貯金ニ振替ヘタル預金ノ利子ニ付テハ大正十四年六月分迄ノ利子ヲ從前ノ規定ニ依リ計算シ郵便貯金ノ全部拂戻又ハ利子元加ノ際其ノ支拂又ハ元加ヲ爲スヘシ  
第三條 預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金ヲ以テ購入保管シタル國債證券及明治三十九年勅令第二百十一號ニ依ル預託ノ國債證券ニシテ預金部預金法施行後三月内ニ預ケ人之力拂戻ノ請求ヲ爲サハルトキハ大正十四年六月三十日ヲ以テ之ヲ貯金局保管ニ組替ヘ預ケ人ニ對シ證券保管通帳ヲ交付ス

第二十一卷 (第二號一五〇) 二九八

第四條 從前ノ預金部預金又ハ預金購入保管國債證券ノ拂戻ニ關シ特ニ定メタル者ノ證明ヲ要スル場合ニ於テ其ノ證明ヲ爲スヘキ者ハ大正十四年七月一日以後之ヲ郵便貯金ノ加印者トス

附則

第五條 第一條及第三條ノ規定ニ依リ郵便貯金通帳又ハ證券保管通帳ノ交付ヲ受ケタル者從前ノ規定ニ依リ日本銀行ヨリ交付ヲ受ケタル預金部預金帳又ハ證券保管證書ヲ所持スルトキハ之ヲ日本銀行ニ返還スヘシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

明治十八年(五月三十日)太政官布告第十三號預金規則抄錄  
第一號 大藏省中ニ預金局ヲ置キ左ノ貯金積立金ヲ預リ之ヲ保管利殖セシム

第三 社寺教會社其他人民ノ共有ニ係ル積立金ニシテ其請願ニ據ルモノ  
大正十四年(三月三十日)法律第二十五號預金部預金法抄錄

附則第四項

預金規則第一條第三號ノ規定ニ依ル預金及其ノ預金ヲ以テ購入保管シタル國債證券並明治三十九年勅令第二百十一號ニ依ル預金及預託ノ國債證券ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノニ付本法施行後三月内ニ預ケ人之力拂戻ノ請求ヲ爲ササルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ預金ハ之ヲ郵便貯金ニ振替ヘ國債證券ハ之ヲ郵便貯金法第九條ノ規定ニ依リ購入シタルモノト看做シテ保管ス

明治三十九年(八月六日公布)勅令第二百十一號ハ明治三十七八年戰役ニ關スル一時賜金預託ノ件ナリ